



# 夢★きらめいて

No. 31

加東市/加東市人権・同和教育研究協議会 令和3年10月1日



～人権文化をすすめる市民運動推進強調月間（8月） 人権啓発横断幕～

●特集「性的少数者と人権」……………2～5	●加東市民人権講座・加東市人権出前講座……………12
●人権標語・人権ポスター……………6～7	●加東市人権擁護委員の活動……………13
●小学生の人権作文……………8～9	●加東市企業人権教育協議会の活動……………14
●男女共同参画……………10	●加東市人権ジュニアリーダー学級の活動……………14
●小中学校人権教育講演会……………11	●加東市人権・同和教育研究協議会の活動……………15
●幼児期人権教育……………11	●人権に関する悩みごとの相談先……………16

## 居場所と出番

教育支援相談員 小林 茂

加東市発達サポートセンター「はぴあ」で、子どもたちや保護者の方、そして先生方から相談を受けています。行動面や学習面で困っていることを聞き、こうしてはどうでしょうかと提案しています。そのとき大事にしているのが、「居場所と出番」という思いです。

「居場所」とは、ありのままの自分でいられる、短所も含めて受け入れてもらえる場所ということです。そんな場所に家庭や学校がなっていると、子どもたちは大事にされていることを実感し、安心・安定を感じることができ、人への信頼感を培っていきます。そして、がんばろうという意欲を沸き立たせます。

「出番」とは、所属する場で役割がある、家族や友人の役に立っている、〇〇さんのおかげでとお礼や感謝を言ってもらえる場があるということです。自分の価値を認識し、自信を深め、さらにやる気を増幅させるのが、出番があるということだと思います。

子どもたちに居場所や出番を作るのが、わたしたち大人の役目です。一人一人の子どもたちをていねいに見て、いいところも悪いところも含めて、あなたのことを大事に思っているよ、一緒にいられてうれしいよと包み込むことが、子どもたちを伸ばすことに不可欠だと思っています。

この「居場所と出番」が、子どもたちだけでなく、大人も含めて社会全体に広がればいいなと願います。

# 特集 性的少数者と人権

～ひとりひとりの多様な性が尊重される社会へ～

非営利型一般社団法人 日本LGBT協会 代表理事  
 清水 展人 さん



## 性的マイノリティに関わる言葉の紹介

### 性的少数者（性的マイノリティ）とは

性的マイノリティとは、同性愛や性別に違和感を感じる人々のことをいいます。現在の社会のなかで「異性を愛するのが当然」「性別は男と女しかない」という「これが普通」「こうあるべき」だと思われている「性のあり方」に当てはまらない人たちのことを、まとめて指す総称のことです。

### 性の多様性について

性の多様性について理解する指標として、人には**SOGIESC**（ソジエスク）という以下の4つの要素があるといわれています。

- ① **Sexual Orientation**（性的指向） 恋愛感情や性的な関心・興味が主にどの性別に向いているか、恋愛感情や性的な関心・興味の有無や強さ
- ② **Gender Identity**（性自認） 自分がどのような性別であるか又はないかについての認識
- ③ **Gender Expression**（性表現） 服装・髪型・しぐさ・喋り方などの外部的な表現
- ④ **Sex Characteristics**（性的特徴） 染色体・ホルモン値・筋肉量・体毛など、生物学的な性別を示す身体的特徴・行動特性

### LGBTとは

- L**（レズビアン）：女性同性愛者
  - G**（ゲイ）：男性同性愛者
  - B**（バイセクシュアル）：両性愛者
  - T**（トランスジェンダー）：出生時に割り当てられた性別と、性自認が異なる人
- 以上4つの頭文字を取った呼称で、性的少数者（セクシュアルマイノリティ、性的マイノリティとも言います）を指し示す言葉として使われます。
- その他に
- I S**（インターセックス）：染色体パターンや内外性器等が性別判断の医学基準に合致しない人
  - Q**（クィア/クエスチョニング）：性的マイノリティの総称、自分のセクシュアリティの特定や、名づけることを避ける人
  - A**（アセクシュアル）：無性愛者



性は「LGBT」「IS」「Q」「A」等、多様に存在しており、呼称として、LGBTI・LGBTQIA等も使われています。

日本人におけるLGBTは8.9%いると言われており、身近な存在と言えます（電通ダイバーシティティ・ラボ：2018）。性的マイノリティの当事者にとって、安心してありのままの自分を語り、過ごすことができる学校環境や社会環境は構築段階であり、悩みを持っていたとしても外見上、分かりづらいこともあり、表面化しにくい課題でもあります。

ゲイ・バイセクシュアルの方を対象とした調査では、自殺を考えたことがある人は65.9%（厚生労働省エイズ対策研究推進事業）、性同一性障害で受診した人を対象とした調査では58.6%が自殺念慮、28.4%が自傷・自殺未遂、29.4%が不登校を経験していた（岡山大学病院ジェンダークリニック）というデータもあります。

社会的な偏見や差別は依然として残っており、「生きづらさ」を感じる当事者や家族が存在しています。

### ○現在の活動

- ・神戸市出身
- ・B・FM791 清水ひろとの広がるラジオ番組パーソナリティ（全国で聴取可）
- ・LGBT特設相談窓口 専門相談員
- ・医療専門学校/看護学校 非常勤講師
- ・医学概論/精神医学/精神治療学/臨床心理学
- ・特別非常勤講師
- ・人権学習/道徳/家庭/総合学習 など

### ○各種お問い合わせ

- ✉メールアドレス [hiroto.simizu1010@gmail.com](mailto:hiroto.simizu1010@gmail.com)
- 🌐ホームページ
- 日本LGBT協会 [lgbt-kyokai.com](http://lgbt-kyokai.com)
- 清水展人(しみずひろと) [hiroto-simizu.com](http://hiroto-simizu.com)

○人権教育の必要性

私は、三人姉妹の長女、展子として生まれました。幼少の頃から好んでズボンばかり履いていました。小学生の頃から好きになるのは女性で、周囲の女友達とは何かが違うことに気付いていました。誰にも知られてはいけないことだ」と思いながら過ごしていました。性や自分の生き方、将来についての悩みはたくさんありましたが、体への違和感や恋愛について、誰にも本心から相談できませんでした。

その理由は、子どもの頃から「オカマ」「男女（おとこおんな）」等の差別的な言葉が交わされ、教科書を含め、性の多様性についての正しい教育環境が整っていないかつ

のために、自分ばかりかわれても仕方がないのだと考え、自分の悩みは誰にも言ってはならないと思っていたからです。

○無意識に発せられる言葉やサインの重要性

悪気なく発せられた無意識の言葉の中にも固定概念が含まれていることがあります。「男の子の中でサッカー部に入りたい人はいますか?」これは実際に先生から言われた言葉です。サッカー部に入りたいと言う勇気もてぬまま時間は過ぎていきました。

安心して自分自身のことを語ったり、自分はありのままの自分でありと感じたりできる学校づくりには、周囲が発する言葉や態度そのものが大切です。男性、女性の概念にこだわらず、ひとりひとりの性を尊重する姿勢や発信が大きな影響力を持つています。



七五三、「女の子だから」と赤色の着物で撮影



○高校生時代の私の葛藤

高校に入學すると同時に、今までの自分はおかしかったと思い、女の子らしくなろうと決断し、大好きなジーパンや服を捨て、化粧品を購入し、青年とも交際しました。しかし、青年を好きになることはできず、自分はどうすればいいのかと、悩みは深まる一方でした。

当時の私は、性の多様性についての指標はもちろん、性的指向や性自認なども知りませんでしたので、自分が何者なのか分からず、大混乱していました。

○共に知り、向き合う強さを

しかし、あるドラマを機に、自分の性について明確になっていきました。「三年B組金八先生」というドラマで、性同一性障害の話題が扱われました。今までの性教育では触れられることのない内容を始めて知ることになりました。知るといことは、現実と向き合うことで、楽なことばかりではなかったと思いますが、私だけでなく全ての人にとって知ることがス

タートだったと思います。

その後、18歳の時に彼女ができ、友人や両親に、泣いて、声を震わせながら、カミングアウトしました。その後、病院で性同一性障害(性別違和)との診断を受けました。

○自分らしい未来が描ける社会へ

しかし、すぐに家族や周囲が理解を示してくれる状況ではありませんでした。母親は「なぜ、そのような険しい道を選ぶのか。」と泣き崩れ、精神的にも落ち込みました。父親は「そんな人が働けるところはない。結婚もできない。一生、一人で生きていくのか。」と社会の厳しさを説きました。両親だけでなく兄弟とも喧嘩を繰り返す日々でした。

ドラマをきっかけに性について少しばかりの知識を得た私でしたが、将来像を描くことはなかなかできませんでした。それは、当事者であると堂々とカミングアウトしている人との出会いもなく、自分のモデルとなるべき人がなかなかみつからなかったからです。

## ○周囲からの偏見と生きがい

そんな中、私は性自認に身体を合わせるために、ホルモン治療を開始することになりました。男性ホルモン治療によって、ニキビが増え、声が低くなるなど、体が少しずつ男性化していきました。体に変化していくことに喜びがありました。外見が少しずつ中性的になると、電車や、人混みの中を歩くと、頭から足の先まで、ジロジロと人に見られるようになりました。すれ違いざまに、見知らぬ人から「あの子は男？女？」「女でしょ。」「いや、男だろう。」「と言われるようになりました。その言葉は、いつも私の心に突き刺さりました。気がつけば私は、戸籍上は女性、氏名は展子ですが、見た目が男性化し、トイレに行くにも躊躇するようになっていました。

「私はこの世の中で、息もろくに吸えなくなってしまう。トイレに行きたくても、行けなくなってしまう。自分らしく生きようとするほど、母や家族を悲しませてしまっている。」と感じるようになり、こんな私は生きていても、社会の誰にも喜ばれない、何のために生まれてきたのだろうと思いつめ、何度も自殺を図ろうとしました。

## ○2004年性同一性障害特例法が施行

その後、2004年に性同一性障害特例法が施行され、要件を満たせば、戸籍上の性別記載を変更できるようになり、私の生きる希望となりました。

しかし、手術を終えていない等、要件を満たしていなかった私は、就職活動に悩むこととなりました。本当の自分自身のことを打ち明ければ採用されないのではないかと、差別されるのではないかとという不安があったからです。

結局、家族と話し合い、戸籍を重視し女性として働くこととなりました。当時私は、子どもたちに

交通指導をする仕事を行っていました。仕事内容はとても楽しく自分に合った仕事でしたが、すでに心の性自認が男性であると診断を受けている私にとって、女性として勤めることはとても辛いことでした。

毎日自分で弁当を作り、無駄遣いをせず、懸命に貯金したお金で21歳の時に海外で手術を行いました。全身麻酔での手術は9時間に及ぶものでした。手術後、体への痛みはあったものの、「これで好きなTシャツが着られる！」と喜びでいっぱいでした。手術後、家庭裁判所で氏名、性別の変更を行い、新たに「展人」の名前で、戸籍上男性としての人生が始まりました。

## ○バリアはどこから生まれているのか

しかし、現実には戸籍変更後もたくさんの障害がありました。戸籍上の性別や氏名を変更していても、女子大学を卒業していた事実はそのままで。教員免許を取得していた私は、教育関連の企業へ、履歴書を持って面接に伺いま

したが、「なぜ女子大の卒業なのでですか？」と聞かれることもありました。正直に性に違和感をもって過ごしてきたことを打ち明けても「はじめてそんな人に出会った」「テレビでしか見たことがない」「うちはそのような人を一人も雇っていない」「対応しかねる」と今までの自分の努力や頑張りよりも、性同一性障害に面接官の焦点がフォーカスされ、面接が、性別適合手術の話で終わることも少なくありませんでした。

戸籍上の性別は変わったはずなのに、生きづらく、息苦しい、ありのままの自分が出せない。ここまで懸命に自分を貫いて頑張ってきたけれど、何のための戸籍変更だったのだろうと思うこともありました。法的な整備は重要なことですが、それと並行して、周囲の人々の正しい知識・理解の普及が広がることの重要性を実体験しました。

苦戦した就職活動でしたが、その後「男性も女性も関係ない」と電話をくださった畳屋さんで畳職人として戸籍変更後の再スタートを切ることとなりました。男らし

く振る舞わなければ自分は受け入れてもらえないかもしれないと考えるなど、ありのままの自分に自信がもてずいたのでありますが、共に働く先輩方にたくさん話を聞いていただき、「世の中にはまだ差別があるかもしれないけれど、負けずに夢に向かって頑張れ」と励まされました。

その後、私は自分の人生を振り返り、私と同じように悩める人の心に寄り添う仕事がしたいと考えられるようになりました。また全人間的復権という言葉が私の心に突き刺さり、人の心の立ち直りの支援をしようとして社会人入学で医療専門学校へ進むことを決意しました。高校を卒業したばかりの若い学生に囲まれながら、背水の陣という気持ちで正月もクリスマスもほとんど勉強して過ごしました。結果的には最短で国家試験に合格し、勤めたかった精神科での勤務も叶うこととなり、性的マイノリティの相談や治療にも関わるようになりました。



○幸せのかたち、家族のあり方も多様

学生時代に、(後に妻となる)女性との出会いがありました。男子学生として過ごしていた私が元々女性戸籍だったとカミングアウトした際には、彼女はかなり驚いていましたが、ありのままの私を受け入れてくれ、コンプレックスとして感じていた私の過去も「あなたの個性」「あなたの魅力」と繰り返し伝えてくれました。そして、様々な逆境を乗り越え2012年に結婚することとなりました。そして、2019年5月には、待望



無理だと言われていた結婚が叶う

の第一子、2021年5月には、第二子を授かることができました。まだまだ子どもを授かりやすい国内の医療環境とは言えませんが、理解を示してくださる方がいることも事実です。

異性間のカップルだけではなく、同性カップルの場合も、子を持つパターンは様々です。養子縁組を組み、子を育てているケースもありますし、私のように元々女性の身体で生まれた場合は、男性戸籍に変更しても精子がありませんので、AID(非配偶者間人工授精)



不妊治療の末に子どもを授かる

を行い、第三者の方からの精子提供によって子を授かるケースもあります。このように実際には家族のかたちや生命誕生までのプロセスも多様化してきています。

現在は、今までの経験を生かして、同じような境遇の人の力になりたいと思い、性的少数者が生きやすい社会を目指して啓発活動を進めています。

○共に社会で生きる私たち、「知る」ことから始めてほしい

是非、加東市の皆様にも誰もが自分らしく輝ける社会に向かってお力添えをいただけましたら幸いです。まず、当事者の声を聴いていただき、知ることからはじめていただきたいと考えております。

性的マイノリティの当事者を代表して、今回メッセージを届けさせていただきましたが、私にできることがあります。またこの文面を期にご連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。

全国各地で性の多様性や自身の実体験をもとに講演し理解の普及と啓発を行っています。

## 人権文化をすすめる市民運動

# 標語・ポスターの最優秀賞・優秀賞作品

8月の「人権文化をすすめる市民運動」にちなみ、市内の児童・生徒の皆さんから、人権標語と人権ポスターを募集したところ、標語146作品、ポスター73作品の応募がありました。

応募作品の中から、最優秀賞及び優秀賞の受賞作品をご紹介します。

応募作品は、8月12日～8月18日に、やしろショッピングパークBio 2階多目的ホールで展示しました。

標語の部

最優秀賞

SNS 投稿一瞬 傷一生

社中学校3年 岡野 煌士

優秀賞

きめたんだ みてみぬふりは もうしない

社中学校1年 安田 樹生

言ってみて いつでも聞くよ 心はなし

滝野東小学校6年 樋之口 珠空

認め合おう 色々な個性を 大切に

東条学園小中学校6年 山田 泰生



加東市マスコット 加東伝の助

ポスターの部

優秀賞



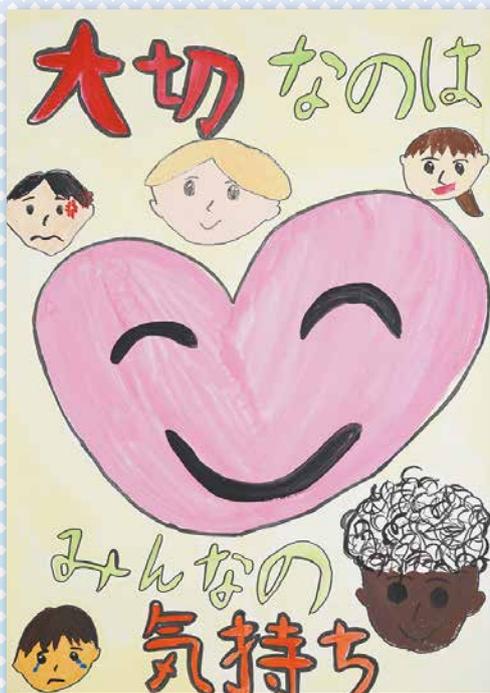
三草小学校 2年 佐治 七花

最優秀賞



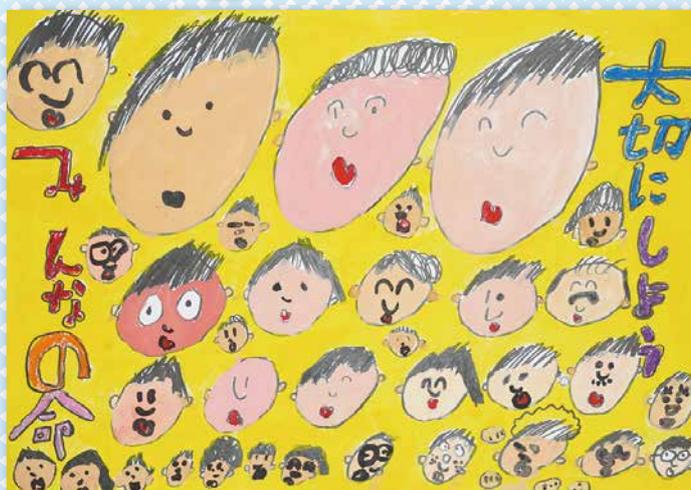
社小学校 4年 荻田 衛人

優秀賞



福田小学校 5年 服部 心音

優秀賞



社小学校 4年 大橋 蓮翔

8月12日～18日  
【人権啓発展の様子】



# 小学生の人権作文



## 「十人十色で差別を無くそう」

社小学校 6年 板谷 優衣



みなさんは、「十人十色」という言葉を知っていると思います。私はこの言葉を、本当にすてきな言葉だと思っています。この言葉の意味は、「十人いればそれぞれ顔やたちが違っていているように、感じ方や考え方は違う」ということです。つまり、見た目や考え方は人それぞれだということです。それなのに、外見や感じ方の違いから差別をする人達がいいます。私は前に、アメリカで黒人男性が白人の警官に殺害されたというニュースを見ました。私は、はだの色が違っただけでなぜ殺されなければならなかったのだろうと、とても悲しく思いました。そして、自分との違いを認められず、差別をする人達への怒りを感じました。きつと差別をする人達は、自分と

見た目が違うことを認められないのだと思います。

そんな時に、十人十色という言葉を出してほしいのです。十人十色という言葉には、「色」という言葉が入っています。十人の人がいれば、十人のはだやかみの毛目の色は絶対に違います。だからそのままの意味で「十人十色」は十種類の違いがあるとれると思うのです。

どうすれば、白人も黒人も女性も男性もそうでない人達も、仲良くすることが出来るのでしょうか？私は考えてみました。差別を無くすための団体や活動に協力したり、それを広めていったりすることは大切なことだと思いますが、私はやはり、「十人十色」の通りにお互いを認め合い、外見で判断したりせず受け止め合うことが一番大切なことだと思うのです。何も「どんな人もきらうことなく、愛するべきだ」などと言っているわけではありません。苦手な人やきらいな人だっているはずですが、でも、少し落ち着いてその人を見ていたら、その人のいい所を見つけて、好きになるといふことがあるかもしれない。私が言いたいことは、たとえきらいな人で

あっても、まずは受け止めることをしてみたいという事です。私だって、苦手な人やきらいな人はいいます。ですが、まずはその人のことを受け止めてみたいと思います。これが地球から差別を無くするための、一歩だと思っからです。私は、この世界が差別のない世界になってほしいです。いろんな人がいるからこそ、面白い。十人十色という言葉が忘れずに、いつか、この世界から「差別」という二文字が消える日がとても楽しみです。

## 「みんな幸せに」

米田小学校 6年 竹中 怜



ぼくの母は、韓国人です。父と結こんして、日本で暮らしています。母は、日本語がとても上手です。たぶん生活するには、それほどごまらないと思います。でも、病院に行ったときは、お医者さんが早口で話されると意味がわからないうことがよくあるそうです。ぼくの家には、いろいろな国の人があります。はだの色、言葉、し

ゆう教もさまざまな人たちです。ほとんどの人が留学生と元留学生です。ぼくの家族は、みんなと楽しく話したり歌ったりしています。ある時、ブルネイから来てくださった人のために、父は神戸のハラ食品の店まで行き、ブルネイの人も安心して食べられる牛肉を買ってきて、みんなですき焼きを食べました。しゅう教の決まりで食べられない物がある国の人に来て、それに合わせることで、みんな楽しく過ごすことができました。加東市には、留学生の他に、海外から、働きに来ている人もたくさんいると聞きました。その人たちの中には、子どもを連れて来ている人や加東市で子どもを出産する人がいます。母は、日本人の家族と一緒に生活しているから、わからないことは、家族が教えてくれますが、外国から来た家族だけで生活している人たちは、どうだろうと思います。もし、ぼくが、アメリカやフランスなど、親せきのいない国に行くとうなるのかと想像してみました。言葉や文字、その国の文化や習慣もわからない状態で生活するのは、とても大変だと思えます。祖母が加東市国際交流協会で行っている「子ども日本語教室」に、何度か一緒に行ったことがあります。そこには、ベトナム、スリランカ、ブラジル、ボリビアの小学生が来ていました。低学年の子は、



滝野東小学校 6年

西角 にしかく

風香 ふうか

### 「みんながやりたいことを 見つけられる社会へ」

漢字の練習や宿題をしていまして、高学年の子は、国語の本読みの練習を一生けん命していました。漢字には、いろいろな読み方があるので、とてもこままっているように思いました。祖母が、漢字に読みがなをつけて発音の練習をしていました。また、日本の都道府県の話や俳句の話などをし、都道府県かるたや俳句かるたで遊んでいました。

社会科で、基本的人権について勉強しました。日本国民でなくても、人はみんな幸せに生活する権利があると思います。「外国人だからかたない」などは思わず、外国から来た人が少しでも楽しく生活できる加東市になってほしいです。また、ぼくも日本語教室で日本語を教える手伝いをしたいです。

おたがいのいいところを認め合い、仲よくなりました、やさしさあふれる社会が築けると思います。

あなたが「人権」と聞いて思うかぶことはなんですか？ 私は「インターネットでの誹謗中傷」が真っ先に思いつくかびます。インターネットでの誹謗中傷は、年々増えてきていると聞いたことがあります、この夏、東京で開催されたオリピックでも、選手や審判への誹謗中傷が問題になっているとニュースで知りました。

私も自身も、面白いと思っていて動画の中に「頭悪すぎ！。死んだ方がいいんじゃないー。」など、暴力的なコメントを見かけたことがあります。私はこの時とても嫌な気分になりました。そして、この動画を投稿した人はもっと嫌な気持ちになるだろうし、傷つくだろうと感じました。アップされた動画に対し、意見を言うことと言葉で攻撃し傷つけることは違うと思います。私はなぜこのようなことが書けるのか理解できません。インターネットでは顔が見えないし、自分の名前を書かずにコメントできるため、きたない言葉を使ったり、人を傷つけたりすることに對して、抵抗が少なくなると、自分がひどいことをしているという感覚がうすれるからです。

なぜ、誹謗中傷をしてしまうのでしょうか。私は誹謗中傷をしてしまう人は、やりたいことが見つからないから、自分にイライラしているのではないかと思いました。人のことを否定したり、批判した

りすることで、正義感にひたつてしまい、「自分はまちがってない」と思いこんで、自分のコメントが他の人の心をどれだけ追い込んでいのか気付かないのだと思います。一度書き込まれたコメントは削除しても完全に消すことはできないし、傷つけてしまったこともなかったことにはできません。たった一人の悪意あるコメントも、拡散されれば世界中の人からこう思われていると思ってしまい、その人の命をうばうほどにまで発展してしまつこともあります。

では、どうしたらこのような被害を防ぐことができるのでしょうか。大人や子ども関係なく、自分の言葉にはネット上であっても責任があるという意識を持つのはもちろん、他人を否定し攻撃することには力を使うのではなく、自分のやりたいことを見つけ、それに対して力を向けられるようにすることが、誹謗中傷してしまつ人も助けられるのではないかと思います。

誹謗中傷してしまつ人にも救いの手をさしのべられる、みんながやりたいことを見つかけられる社会になれば、自然と被害が減っていき、嫌な思いをすることもなくなると思います。



登録されていますか？

## 本人通知制度！

代理人や弁護士などの第三者が、住民票の写しや戸籍謄抄本などを取得した場合に、本人に知らせる制度が「本人通知制度」で、不正取得の発見につながります。通知を希望する方は事前登録が必要になりますので、登録手続きをしましょう。  
※市ホームページから詳細をご覧ください。



加東市本人通知制度

加東市本人通知制度 [検索](#)

【お問い合わせ】市民課 (庁舎1階) ☎43-0390

身元調査だけでなく、  
車庫証明の不正利用  
(いわゆる「車庫とぼし」)  
に使われるかも！  
「ひとごと」じゃない  
ですよ！



# 男女共同参画コーナー

## 世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数2021」を公表しました!

ジェンダーギャップ指数は、各国の社会進出における男女格差を示す指標で、世界経済フォーラム（ダボス会議を開催する、世界の企業や団体が加盟する非営利の公共団体）が、各国を順位付けし、2006年から毎年発表しているものです。

この指数は、「経済」「政治」「教育」「健康」の4つの分野のデータから作成され、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味します。

2021年の日本のジェンダーギャップ指数は0.656。調査対象となった156か国のうち、120位（前回は153か国中121位）でした。前回と比べて、スコア・順位ともに、ほぼ横ばいとなっており、先進国の中で最低レベル、アジア諸国の中で韓国や中国、ASEAN諸国より低い結果となりました。

## 男女共同参画はなぜ必要?



「男女共同参画」という言葉を聞いて、どのように感じますか?

「意味は分かっているけど自分には関係ない」「漢字ばかりで堅苦しそう」と感じている人はまだまだ多いのではないのでしょうか?

憲法には「個人の尊重」と「法の下での平等」がうたわれており、男女平等の実現に向けて、さまざまな取組がなされてきました。しかし、大事な意思決定の場に女性が加わることが少なかったり、男女間の不平等が多くあるのが現状です。

また、少子高齢化による人口減少の本格化など、私たちの生活をめぐる状況の変化に対応していくためには、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」といったような性別による固定的な役割分担意識にとらわれずに、家庭や仕事、地域で、だれもが個性と能力を発揮できる社会づくりが必要となっています。

## 私たちが目標とする男女共同参画社会とは?

### 家庭では...

- 誰もが家族の一員として尊重され、互いに支え合える家族。
- 家事や育児、介護などを家族のみんなで分担し、喜びも苦勞も分かち合える家族。
- 子どもの個性や能力を伸ばす家庭教育。



### 地域では...

- 固定的な性別役割分担意識に基づく古い慣習やしきたりが見直され、一人ひとりの考え方や行動が尊重される地域。
- 性別や年齢に関係なく、地域の意思決定の場へさまざまな人が参画し、誰もが地域の一員として活躍できる地域。



### 職場では...

- 募集・採用、昇進、賃金などにおける男女格差が解消され、個性、能力などが十分に発揮できる職場。
- 管理職など、方針決定の場への女性参画が進み、男女ともに生き生きと活躍できる職場。



# 小中学校人権教育講演会

子どもの頃から、人を思いやる心の大切さ、また、夢に向かって努力する大切さ等をテーマにしたお話を聞くことで、将来に希望を持って過ごしたり、自分や周りの人を大切に考えたりできる大人へ成長することを願って平成25年度から実施しています。

## 加東市立学校人権教育講演会

講師：清水展人（日本LGBT協会 代表理事）  
演題：「女らしく男らしく生きるよじ  
自分らしく生きる」

本号2〜5ページの特集「性的少数者と人権」を執筆いただいた清水展人さんの講演が、令和3年6月21日（月）に社中学校で行われました。

### 講演後の中学生の感想

・清水展人さんの話を聞いて、LGBTについて知ることができました。清水さんが最初に日本人は多様性についての認識がまだこれからだとおっしゃいました。たしかに第一印象で「こんな人かな」と考えたり、固定概念が何となく入ったりしているの、意識して変えていかなければならないと思いました。

・清水さんは相談したくてもできない、がんばってカミングアウトしても認められにくい、人が接するときに気を遣われるなど、精神的にも大変辛かったらどうなってしまうか。その中でも、信じてくれる、寄り添ってくれる友達の存在がとても大切だと思えます。自分が友達だったら寄り添えるような人間になりたいと思います。そして、すぐに相談でき、助け合えるような世界を作りたいです。今回の講演会では、新たな知識を知り、固定された考えを変えられることができましたので自分にとってプラスになりました。



## 幼児期人権教育

# 「みんな、たいせつ」プログラム

講師：Kids Firstカウンセリング 代表 中本久美 先生

### 指導者養成セミナー

理論編実践編：令和3年7月9日



幼児期人権教育指導者養成セミナーは、市内認定こども園・保育所に勤務する職員10名を対象に実施いたしました。  
理論編では、身近な大人が幼児期に子どもを受入れ、認めることで愛着形成ができ、自他ともに認め、互いを尊重できる心、「人権感覚」を育むことができることを学びました。  
実践編では、グループワークを取り入れ、保育士役と、子ども役になり、実際にオリジナルプログラムを作成し実践しました。皆さん子ども一人ひとりを大切に言葉かけの大切さや意義を実感されました。

### 親子セミナー

令和3年 7月14日 於：三草こども園

令和3年10月29日（予定） 於：米田こども園



三草こども園でのセミナーの様子

「みんな、たいせつ」プログラムを今年度は市内2園で実施しており、7月14日は、三草こども園の子育て相談を行いました。  
親子の触れ合いのワークでは互いに心臓の音を聞いたり、おしくらまんじゅうをしたりして、会場いっぱい親子の笑顔があふれました。  
セミナー後のアンケートでは、\*子どもにたくさん「あなたが大変と大好き」をもっと日常的に伝えたいと思いました。  
\*悩みを聞いてもらってスッキリしました。大人も認めてもらうと嬉しいので、その気持ちを子どもにもたくさん味わわせてあげようと思います。  
と、いった感想が見られました。

# 第15期加東市民人権講座を 実施しています！

人権協働課では、市民の皆様の人権意識の高揚を図り、人権教育推進のためのリーダーを育成することを目的に加東市民人権講座を実施しています。

第1回は、6月に「感染症」をテーマに、諏訪赤十字病院臨床心理課長、人道支援実践家、臨床心理士の森光玲雄さんに「病気になるのは、悪いこと？ーコロナで問われる私たちの差別意識ー」と題して、ご講演いただきました。講演は加東市ケーブルテレビ及びYouTubeで放映いたしました。新型コロナウイルス感染症による排除行動を分析し、その発生メカニズムや、私たちにできることを示していただきました。排除を生んでしまう人の心理についてや、コロナ禍における心の持ちようについて考えるいい機会になりました。

## アンケートの感想

・お話が分かりやすく、具体的によかったです。



・不安や恐怖に押しつぶされそうになる時もありますが、冷静に判断して行動することを心掛けたいです。  
・心の持ちように優しさ、思いやりをもち、それを行動に移すという先生のお言葉に共感しました。

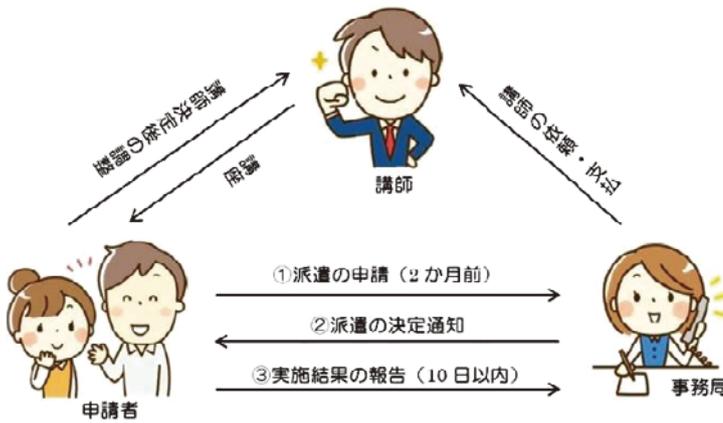
第2回は、8月に「部落差別」をテーマに、社会学者、専門社会調査士の神原文子さんに「部落差別（同和問題）は今？ー平成30年度人権に関する市民意識調査結果よりー」と題して、ご講演いただきました。講演は加東市ケーブルテレビ、YouTubeで放映いたしました。加東市における部落差別の実態とその要因、そして課題についてお話いただき、部落差別について改めて考えることができました。

第3回は、11月に「高齢者」をテーマに、講演を加東市ケーブルテレビ、YouTubeで放映予定です。詳しくは、広報かとうやホームページでお知らせします。

# 加東市人権出前講座について

加東市人権・同和教育研究協議会（以下「市同教」という）では、「加東市人権出前講座」を実施し、任意団体などのグループが主催する研修会などへの講師の派遣を行っています。

人権を尊重する意識を高めるために、専門の先生を呼んで、ヒントをもらってみませんか。講師料は、市同教が負担します（3万円



まで)。趣味のサークル、ママ友、パパ友、PTAの部会、社内の若手グループなど、任意団体であればどなたでもご利用いただけます。

○講演のテーマ（例）女性（男女共同参画、DV）、子ども（虐待、いじめ）、高齢者（介護、認知症）、障がいのある人、同和問題、外国人、インターネットによる人権侵害など

○派遣する講師 主催者（任意団体）からの依頼により、開催場所や内容等に応じて、かとう人権教育講師登録者リストから講演内容に適した講師を選定させていただきます。

加東市人権出前講座に興味をお持ちの方は、人権協働課 ☎ 4310544 まで、お気軽にお問い合わせください。



# 人権擁護委員の活動 ~あなたの街の相談パートナー~



## 人権擁護委員とは？

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間人で、現在、全国の各市町村に約14,000人が配置されています。

人権擁護委員は、法務局と連携して、地域の皆さまからの人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権侵害の被害者を救済したりするほか、地域の皆さまに人権について関心を持ってもらえるよう啓発活動を行っています。

## 北播人権擁護委員協議会

西脇市・小野市・加西市・加東市・多可町の4市1町の人権擁護委員で組織しています。加東市では、9人の人権擁護委員が「加東部会」として次のような活動を行っています。

### 北播人権擁護委員協議会 加東部会の活動

#### 人権相談活動

##### 総合相談

社会福祉協議会の総合相談の中で人権相談を担当しています。社福祉センター（第3金曜日）・はびねす滝野（第2金曜日）・東条公民館（第4金曜日）で、月3回の開催です。

##### 特設人権相談

法務局が掲げる推進月間に合わせて、人権に関する相談を受けます。社福祉センターで、5月（憲法週間）・6月（人権擁護委員の日）・12月（人権週間）に開催しています。

##### 特設総合相談

民生児童委員とともに、隣保館・公民館にて相談を受けます。7月・11月・3月に開催しています。

#### 人権啓発活動

6月(男女共同参画週間)・8月(人権文化をすすめる市民運動推進強調月間)・12月(人権週間)に街頭啓発活動を実施しています。

#### 学校などにおける人権啓発活動

##### 「人権の花」運動

子どもたちが花を育て、絵や感想などを書いたり、福祉施設との交流をしたりすることで、人権尊重の心を養います。

##### ミニ人権教室

市内のアフタースクールで、紙芝居や楽しいゲームをして、子どもたちとの交流を深めるとともに、友達の輪を広げることなど人権の大切さを伝えています。

##### 子どもの人権SOSミニレター

誰にも相談できない子どもたちと、手紙のやりとりを通じて、子どもたちの悩みを早期に発見し、解決への手助けを行います。



## アイヌの人々に対する偏見や差別をなくしましょう

先住民族であるアイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会を実現するため、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」が施行されました。

### ~全国のアイヌの方々のための電話相談を行っています~

アイヌの  
方々からの  
様々なご相談を  
お受けします

公益財団法人人権教育啓発推進センターでは、アイヌの方々の悩みをお受けするフリーダイヤルを開設しています。嫌がらせ、差別、プライバシー侵害などのご相談もお受けします。ご希望によりアイヌの相談員が応じます。

☎0120-771-208 【平日9:00~17:00 祝日、12月29日~1月3日を除く】

加東市企業人権教育協議会の活動

スローガン

『受けついでついでに確かな実践、進めよう明るい職場づくり！』



加東市企業人権教育協議会（企人協）では、会員各社が人権意識を高め、差別のない企業づくり、働きがいのある職場づくりを通じて、人権の尊重が企業文化として定着していくよう支援しています。

本年度、新型コロナウイルス感染症に対する偏見・差別を含め、より一層人権尊重意識の高い職場づくりと雇用・労働条件をはじめとする就労環境の整備など、企業の社会的責任を果たす取組が推進されるよう、人権教育研修を計画しています。

企人協に参加している市内の企業・事業所は、合計91社で、企業規模（従業員数）に応じて年会費を納入いただき、差別のない明るい社会づくりに貢献することを目的として自主的に事業を行っています。

◆本年度重点目標

①社員研修会を開催し、明

るく温かい、潤いのある職場づくりを支援します。

②企業内研修会を推進し、豊かな人権感覚を培い、人権が尊重される職場づくりを支援します。

③会員企業間、企業と企人協事務局との連携を密にするとともに、研修資料の提供を積極的に行います。

④企業の社会的貢献の一環として市民公開講座を開催し、人権の尊重された社会の実現に寄与します。

◆本年度前期の取組

第1回社員研修会及び市民公開講座は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出により、中止しました。

第2回社員研修会（DV D視聴研修）は10月28日開催予定です。

①『「違い」を「力」にするために』―職場のコミュニケーションのヒント―

②『ハラスメントを生まな

いコミュニケーション―グレーゾーン事例から考える―

職場では、グローバル化や少子高齢化により、より多様な人材が活躍する時代になっています。今、この多様性の進展のなか、コミュニケーションのあり方は、「職場の人権」を考える上で注目度を増しています。お互いの「違い」をプラスにして、積極的に新しい価値に転換するため、事例をもとに研修します。

また、一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴が潜んでいます。様々な事例をもとに、コミュニケーションのあり方を研修します。



加東市人権ジュニアリーダー学級

2011年度から市内中学生を対象に、部落問題をはじめさまざまな人権問題について学習することで、豊かな人権感覚を養い、正しい判断力と行動力を身に付ける素地を養うことを目的として、人権ジュニアリーダー学級を行っています。

今年度は、①映画「ある精肉店のはなし」とお話し「命をいただき、いのちは生きる」、②障害のある人の「就労」って？③「青野原捕虜収容所・鶉野飛行場跡地見学」を夏季休業中に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、一か所に集まって行う学習会は中止せざるを得ませんでした。

しかしながら、「障害のある人の「就労」って？」（講師：加東市障害者相談支援センターつむぎ所長 原尚浩さん）については、YouTubeと加東市ケーブルテレビによって動画配信を行いました。

障害のある人の就労には、一般就労と、福祉サービスを利用しながら働く福祉的就労があることを実際の事業所での作業の様子を通して分かりやすくお話をさせていただきました。

「一般就労であれ福祉的就労であれ働くことに変わりなく、さまざまな思いをもって仕事に就かれていることを少しでも知ってもらえれば」という講師の方の思いが強く感じられました。



### 加東市人権・同和教育研究協議会上半期の活動

#### ◆役員について

藤本貴樹会長をはじめ本年度の役員が、書面決議によって承認されました。



藤本 貴樹 会長

本年度役員（敬称略）	
会長	藤本 貴樹
副会長	松井 敏、山本 貞江
会計	山口 義徳
監事	吉田 真人、久野 勝久

#### ◆主な事業

##### ◆人権啓発推進員委嘱式

（4月13日）…中止

##### ◆第1回理事会

（5月7日）…中止

##### ◆総会

・新旧理事による総会議案の検討  
（5月21日）…中止  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、理事会・総会ともやむなく中止し、書面決議を行いました。

すべての議案（事業報告、決算報告、役員選出、事業計画、予算）が承認されました。

#### ◆専門部会

##### 住民学習推進部会

#### ○住民学習説明会

（6月29日・7月1・2日）

・本年度も全地区を3つのブロックに分けて行いました。  
・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、期日を二度延期しました。

・住民学習を地区全体の取組として実施していただくため、人権啓発推進員さんだけでなく区長さんにも出席していただきました。

#### ○住民学習会

・人権学習の進め方として、

- ①DVDの視聴や、講師の話を聞いたりする等、感染対策をした上で、集合型研修を行う
- ②資料を配布して個別（家庭）研修を行う
- ③加東市ケーブルテレビでDVDを視聴して個別（家庭）研修を行う

などから研修方法を選択して人権学習を行っていただくようにしました。

・各地区で7月～12月に実施される予定です。

#### ○助成金

・基本助成…1万5千円＋地区の世帯数に応じた額



本年度推奨DVD『カンパニユラの夢』

このDVDのテーマは「超高齢化社会とひきこもり（8050問題）」です。

近年、「80代」の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家庭が増加しています。

「8050問題」とは、こうした家庭が地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの超高齢化社会における新たな社会問題のことです。

背景には、家族や本人の病気、親の介護、リストラ、人間関係など、複合的な課題を抱えながらも、親子共倒れの問題が発生するまでSOSの声を上げることができない「家族の孤立」が地域に潜在化していることがあります。

急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることで認識し、ひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざすことが大切です。

##### 団体別研修推進部会

#### ○民生児童委員協議会 社支部

期日…4月13日(火)

演題…障害のある人もない人も誰もが住みよいまちに

講師…加東市人権教育推進員 藤原 正幸さん



障害のある人が直面する人権問題や合理的配慮についてケースをあげて話されました。

#### ◆関連事業

##### ◆兵庫県人権教育研究大会

東播磨大会（書面開催）

##### 【人権・同和学習】

「良さを認め合い、自他を尊重する 児童の育成をめざして」

社小学校 高尾 徹さん

【新たな取組が求められる人権問題】

「絵本『二番目の悪者』を活用した 情報モラル学習の実践」

兵庫教育大学附属中学校 橋本美砂子さん、

宮村香里さん、和田雅博さん

# 人権に関する悩みごとの相談先



加東市マスコット  
加東伝の助

差別、いじめ、いやがらせなど、人権に関する問題でお困りの場合は、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

## 電話で相談

### ●法務局

#### ○常設相談(みんなの人権110番)

☎0570-003-110(全国共通人権相談ダイヤル)  
差別や虐待、パワーハラスメントなど、さまざまな人権問題についての相談を受け付ける相談電話です。

#### ○子どもの人権110番

☎0120-007-110 (全国共通フリーダイヤル)  
いじめや虐待など、子どもの人権に関する専用電話です。

#### ○女性の人権ホットライン

☎0570-070-810 (全国共通ナビダイヤル)  
配偶者やパートナーからの暴力、職場等におけるセクシュアル・ハラスメントなど、女性の人権に関する専用電話です。

【以上 平日8:30~17:15】

#### ○外国語人権相談ダイヤル

Foreign-language Human Rights Hotline  
☎0570-090-911  
【平日9:00~17:00】

#### ●文部科学省 24時間子どもSOSダイヤル

(なやみ言おう)  
☎0120-0-78310 (全国共通フリーダイヤル)  
子どもの人権に関する専用電話です。

#### ●公益財団法人 兵庫県人権啓発協会

☎078-242-5355  
【平日9:00~17:00】  
インターネットによる人権侵害を含めたさまざまな人権問題について相談を受け付けています。

#### ●加東市人権協働課

☎0795-43-0544  
【平日8:30~17:15】  
さまざまな人権問題について相談を受け付けています。

## インターネットで相談(24時間受付)

<https://www.jinken.go.jp>

パソコンや携帯電話から、いつでも相談できます。相談フォームに内容を記入して送信すると、最寄りの法務局から、手紙、電話または面談により回答されます。

## 手紙で相談

### 子どもの人権SOSミニレター

市内の小学校・中学校の児童・生徒に専用用紙を配布しています。まわりの大人に相談できないとき、手紙を書いてポストに投函してください。人権擁護委員や法務局職員が希望する方法(手紙や電話)でお返事します。

## 面接で相談

### ●法務局の常設相談

法務局職員もしくは人権擁護委員が相談を受け付けています。

【平日8:30~17:15】

神戸地方法務局社支局 ☎0795-42-0201

### ●人権相談

月3回、次の場所で相談を受けています。相談員は人権擁護委員です。

- ・第2金曜日 はびねす滝野
- ・第3金曜日 社福祉センター
- ・第4金曜日 東条公民館(とどろき荘2階)

【10:00~11:30】

### ●隣保館人権相談

休日を除く毎週水曜日の14時から16時まで人権協働課職員が相談を受けています。

加東市人権協働課

### ●人権協働課の常設相談

人権協働課職員が相談を受けています。

人権協働課 ☎0795-43-0544

【平日8:30~17:15】

発行

加東市  
加東市人権・同和教育研究協議会

〒673-1493  
兵庫県加東市社50  
TEL 0795-43-0544

FAX 0795-42-1735

# STOP! コロナ差別

新型コロナウイルスは人を選びません。  
誰もが感染する可能性があります。

- 患者やその家族、濃厚接触者、回復した方などに対する差別的な行動はやめましょう
- 医療や介護、物流、小売など、暮らしを支える職業の方に感謝しましょう
- SNSなどで心ない誹謗中傷や誤った情報を拡散することはやめましょう

あなたや、あなたの大切な人が非難されたらどう思いますか？

加東市は、感染症を理由とする差別を 방지、だれもが、安心して暮らせるまちづくりのため「加東市感染症の患者等の人権擁護に関する条例」を令和3年2月に公布、施行しました。

